

物価高騰対策の比較(各党参議院議員選挙公約より)

	自由民主党	立憲民主党
消費税減税	<p>➔ 記載なし</p> <p>※岸田総理「消費税率の引き下げは考えていない」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時限的に税率5%に減税
原油価格高騰対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 燃油価格の激変緩和措置を継続 ➔ 小手先の対策に終始 	<ul style="list-style-type: none"> ・ トリガ一条項の発動によるガソリン減税 ・ 灯油・重油・LPガス・航空機燃料等の購入費補助
小麦高騰対策	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国産小麦の増産支援等 ➔ 新たな対策無し 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国が輸入小麦を製粉企業等に売り渡す際の価格(輸入差益分)を引き下げ
年金生活者支援	<p>➔ 具体策なし</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年金生活者支援給付金の増額 ・ 低所得の高齢者に一定額を年金に上乗せして給付する制度の創設
最低賃金引き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 引き上げを進める ➔ 公約に目標額の記載なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小零細企業に公的助成をしながら時給1500円を将来的な目標として段階的に引き上げ
中小企業支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取引価格の転嫁対策徹底 ・ 資金繰り支援、過剰債務の軽減を含めた事業再生・再チャレンジ支援 ➔ 対策不十分 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業復活支援金の支給上限額倍増 ・ 中小企業のコロナ債務負担の軽減(条件付きで減免も実施)
金融政策	<p>➔ 記載なし</p> <p>=「異次元の金融緩和」を継続し、物価高騰を助長する円安を放置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 急速な円安の原因である「異次元の金融緩和」の見直し